

加瀬沼ため池

(かせぬまためいけ)



石割護岸

春のため池



ため池の概要

ため池の所在地

宮城県多賀城市、塩竈市、宮城郡利府町

ため池の特徴

加瀬沼ため池は、奈良時代には多賀城北側の外堀として防備の役割を担っていた池を、江戸時代初期、400年前に農業用ため池として築造したものです。多賀城市の重要なかんがい用水源として現在に至るまで水田76haを潤しています。

冬には白鳥、鴨などの渡り鳥が訪れる豊かな自然が残る貴重な場所で、「多賀城の自然と野鳥を守る会」により、水鳥の餌付けなどが行われ、四季を通じて多くの人で賑わっています。

また、春の桜、晩秋の紅葉の見所として有名で、堤体の護岸は、周辺の緑豊かな自然や景観に配慮し、石割護岸が取り入れられています。

農業用施設としての役割のほか、歴史、景観等に優れる市民の憩いの場としても親しまれており、ボランティア活動に意欲を持つ人々が「ふれあいサポーター」の認定を受け、継続的な緑化・清掃活動を行っています。

関連情報